

国勢調査をご存じですか。この調査は全国、都道府県、市区町村の人口や世帯の実態を明らかにし、行政施策の基礎資料として役立つ、国の最も基本的な調査。大正九年以来、五年ごとに行われ、今年はその調査の年に当たります。皆さんのご協力をお願いします。

国勢調査にご協力をお願いします

豊かな社会のために
ご協力ください

今回の調査は大正九年の第一回から数えて十六回目の調査。男女・年齢別の人口構成、就業状況、世帯構成などを調べ、二十一世紀に向けたさまざまな計画や行政施策に生かされます。具体的には経済計画、国土整備計画に使われるほか、都道府県や市議会の議員定数の決定、市や指定都市の設置要件、地方交付税交付金などの算定基準にもなります。適切な行政施策を行うには、現状の把握と将来の予測が不可欠。さまざまな角度から人口、世帯などについて統計をとらなければなりません。国勢調査は、新世紀へ向け豊かな社会を築くためにどうしても必要な調査なのです。

プライバシーは
固く守られます

国勢調査は国内に住んでいるすべての人が対象となります。もちろん外国人も含まれます。



調査日は十月一日。市長の推薦によって総務庁長官から任命された調査員が、九月二十三日から十月八日までの間に各世帯を訪問し、調査票の配布、回収を行います。調査する項目は十七項目。出生の年月、仕事の種類、住宅の種類などです。マークシート方式で、さほど難しくありません。

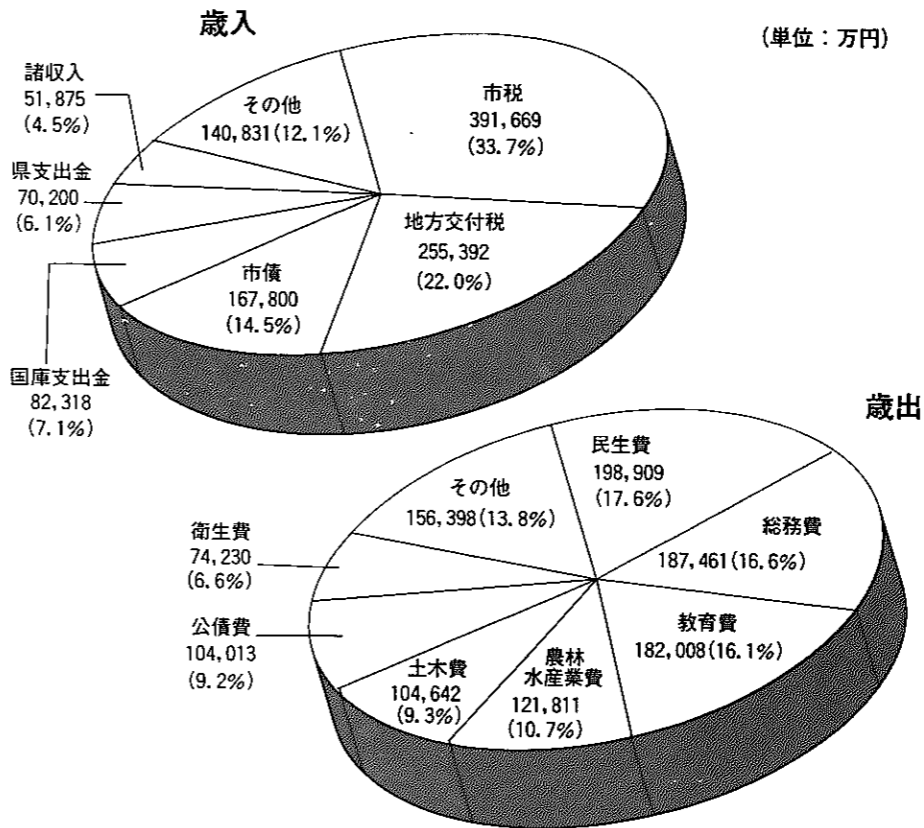
国勢調査は統計法により行われるもので、調査する人が、調査結果を漏らしたり他の目的に使うことは固く禁じられています。プライバシーは完全に保護されます。ご安心ください。

※国勢調査についての問い合わせは市役所総務課情報統計係（☎73・2111④343）へ

平成6年度一般会計決算見込み

3億613万円を繰り越し

平成六年度一般会計の決算状況（見込み）をお知らせします。決算額は、歳入が百十六億八千五百九十九万九千九百九十九円、歳出が百十二億九千四百七十七万二千四百円、差し引き三億六千一百三十二万二千五百九十九円を繰り越すこととなります。この決算は、今後市議会でご承認された後に確定します。



平成六年度の当初予算は百四億一千八百万円スタート。その後、さまざまな行政需要にこたえるため、六回の補正を行い、最終予算規模は、百十三億五千四百四十三万円となりました。決算見込み額は、歳入が百十六億八千五百九十九万九千九百九十九円、歳出が百十二億九千四百七十七万二千四百円、差し引き三億六千一百三十二万二千五百九十九円を繰り越すことになりました。

歳入 市債が増加

歳入では、前年度に比べて四億四千四百九十八万九千九百九十九円（三・六％）増加しました。主な要因は、県支出金や市債などの依存財源の増加によるもの。一方、市税や分担金、負担金など市が自ら調達できる自主財源は五十二億六千三百二十一万九千九百九十九円、前年度に比べ一億二千四

百十六万二千円（二・四％）の増加となっています。この自主財源は、安定した財政基盤を確保するのに大きな影響を及ぼすものです。しかし、自主財源が歳入全体に占める割合を示した自主財源比率は、四五・四％と昨年度を〇・五ポイント下回りました。自主財源の七四％を占める市税は、歳入総額の中でも、三三・七％と、最も大きな割合を占めていることから、税収入によって自主財源と依存財源の構成比が左右されることとなります。

自主財源が減少した要因は、特別減税により、市民税に約二億二千四百三十万円の減収が生じ、その分を依存財源である減税補てん債で補ったことが挙げられます。

歳出 公債費が増加

歳出では、総額が百十二億九千四百七十二万円、前年度に比

べて、三億三千一百一十二万円（三・〇％）増加しました。しろね大風と歴史の館、白根北中建設事業債など公債費が増加したことによるものです。一方、白井保育園の建設や白井小学校用地取得が完了したこと、投資的経費は三十二億四千三百二十二万円と前年度に比べ一億八千五百九十九万九千九百九十九円（〇・六％）減少しました。

依然厳しい財政状況

市債残高の増加に加え、景気低迷による税収への影響などで、市の財政状況は、依然として厳しい状況です。市では、このような中で、白根市のまちづくりの指針となる平成八年度からの第四次総合計画の実現に向け、努力していきます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

議会の動き・第5回急施臨時会 水防費などを追加補正

平成七年第五回市議会急施臨時会が、八月十一日に開かれました。急施臨時会は、切迫した事態で緊急を要する場合に開かれる議会です。この臨時会で、提案された平成七年度一般会計補正予算（第五号）が可決されました。今回の補正で、歳入歳出にそれぞれ二千六百六十三万六千七百七十円、予算総額を百七億七千二百七十万六千円としました。これは、七月十一日から八月三日までの間の集中豪雨、河川の増

大通川支線排水路から水があふれ出した南団地の道路



消防団や地元の人たちで土のう積みが行われた

